

目 次

はしがき

研究組織・研究経費

本科研による過去の報告書

I. 義務教育として認められている国・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

アメリカ：米国ホームスクールの史的展開と現状にみる分断と統合・・・・・・ 2

宮口誠矢（東北大学／日本学術振興会特別研究員 PD）

：多様性を貫く「共通の基盤」としての公立学校の基準・・・・・・・・・・ 19

中島千恵（京都文教大学）

カナダ：「論文再掲：概要説明」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

教育学分野における ArchiMate を用いたシステム思考分析の有効性

ーカナダ・ブリティッシュコロンビア州在宅教育制度の事例よりー

山本修一郎（名古屋国際工科専門職大学）

松本 麻美（名古屋国際工科専門職大学

名古屋大学大学院）

【再掲】 THE EFFECTIVENESS OF SYSTEM THINKING ANALYSIS
USING ARCHIMATE IN THE FIELD OF EDUCATION: A CASE
STUDY OF THE HOME EDUCATION SYSTEM IN BRITISH
COLUMBIA, CANADA

S. Yamamoto, M. Matsumoto

International Professional University of Technology in Nagoya (JAPAN)

インドネシア：ホームスクーリングにみる

多様な学びの機会と「共通の基盤」の保障・・・・・・・・・・ 53

服部美奈（名古屋大学）

ロシア：【資料紹介】ロシアにおけるホーム・エデュケーション・・・・・・・・・・	66
澤野由紀子（聖心女子大学）	
K.N.ポリヴァノヴァ、D.R.アフメジャノワ、K.A.リュビツカヤ、 D.S.ストルーコヴァ著、（澤野由紀子訳）	
「ロシアにおけるオルタナティブ教育の選択：家庭の動機と社会的特徴」 ロシア国立高等経済学院『教育経済のモニタリング・情報誌』No.3(45)、 2023 年	
II. 限定的に義務教育として認められている東南アジア諸国・・・・・・・・・・	83
（タイ）、マレーシア、シンガポール	
東南アジア諸国のホームスクーリング ―比較考察― ・・・・・・・・・・	
杉本 均（佛教大学）	
III. 認められていない国 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	99
韓 国：ホームスクーリングの現状とグローバル化の影響・・・・・・・・・・	
石川裕之（京都女子大学）	
おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	115